

Easter Village

イースタービレッジだより 第55号



明日に向かってジャンプ

支笏湖にて

初めて日本へ行ってみて

アイミ・マバニス

私の日本に対する印象は、道にはゴミも落ちてなくて危険な動物もないし、人々は規律を守っていて国がとても豊か、というものです。そして今回の日本での経験は、私にとってとてもワクワクするものでした。

藤女子学校での札幌教区100周年式典のコンサートは、最初はとても緊張していたけど、歌っているうちに段々と楽しめてきたのでよかったです。こんななかなか経験できないような舞台上に立たせていただいたので、感謝の気持ちを込めて歌いました。

コンサート以外で思い出に残っているのは、まずはラーメンや寿司を食べたこと、今でも夢に出てくるほど美味しかったです。けどわさびはちょっと苦手でした。

クマ牧場と水族館にも行きました。初めて見たクマはとてもキュートで、ちょっと臭いけど私は彼らが大好きになりました。水族館でのイルカショーはまるで建物の中に海があるようです。良かったです。

そして私を家族のように受け入れてくださったホストファミリーの加藤さん、病気になるた私をとて親切に看病してくださった教会の方たちには、本当に言葉にできないくらい感謝しています。彼らの愛情を感じてとても幸せでした。

またこのような素晴らしい機会を与えてくれた祐川神父様と勝谷司教様にも本当に感謝しています。私にとって何よりも価値のある経験をくださいました。

みなさん本当にありがとうございました。神の祝福が私たちの素敵な旅を支えてくれたすべての人たちに降り注がれますように。

日本への旅

カトリック札幌教区の100周年にあたり、イースタービレッジから7名が招待され、8月末から9月上旬まで約2週間、日本に行ってきた。



二人のスタッフと五人の青年たち

今回は、この100周年の記念式典でミニ・コンサートを開くのが第一の目的で、今年の一月から制作、9月に発売したオリジナルCDからの曲と、イースタービレッジで歌われている曲など、アンコールも含めて9曲準備しました。9月4日の式典ミサ、コンサートの記事が、地元の北海道新聞にも取り上げられました。「支援者に感謝の歌」を届けて来道との見出しで、大きく取り上げられました。



9月3日の北海道新聞の朝刊に掲載されました

当日は、札幌藤女子大学の講堂で、二階席まで埋まるほどの人で、ビレッジの出番は午後の部の最後でしたが、大勢の人達が残ってコンサートを盛り上げてくれました。今回は特別に、ダバオから本田修二さんもギターの伴奏のために来てくれました。プロのギターリストがいてくれるだけで、緊張感もやわらぎ、助けられました。

コンサートは無事に盛況のうちに終わることができました。今までの感謝の気持ちを込めて歌った良いコンサートになったと思っています。感謝です。



Soraという前奏者の人達と



しました。大勢の人たちが、買ってくれました。月寒教会の人たちが販売を手伝ってくださいました。コンサート後は、ビレッジのメンバーと青年たちも販売のお手伝いをしてくれました。月寒教会で、さやかな打ち上げ会をしました。



この日には、出来立てホヤホヤのビレッジのオリジナルCDとオリジナルTシャツの販売も



ロー神父様を囲んで。月寒教会の人たちにはホームステイも含め大変お世話になりました

今回の訪日の一番の目的はコンサートでしたが、練習のために少し早めに日本に到着し、ホームステイも体験し、日本の暮らしや人々との交流も行ないました。

8月の末日曜日は、60年間、日本で宣教されたロー神父様がフランスへ帰国されることになり、その送別会も月寒教会で開かれ、お別れパーティーでも演奏を披露しました。

今回の旅の感想は紙面の都合上、全員のものには載せられません。あしからず。



9月4日の本番を無事に終え、次の日からはお楽しみみの小旅行です。勝谷司教様も同行されて、支笏湖やオロフレ峠を越えて、登別温泉に一泊しました。もちろん、フィリピ人には公衆浴場はなく、人前で裸になることはありません。みんな、緊張していましたが、無事に日本の温泉文化の洗礼を受けました。一度この温泉の良さを味わうと癖になるようです。温泉、ラーメン、寿司、みんなファンになりました。



支笏湖畔で記念写真



オロフレ峠で。一瞬でしたが、洞爺湖も見えました

ご寄付頂いた方々、

心より御礼申し上げます。

- 樋爪清子 (株)リモウ
- 佐山淑子 上関敦子 萬屋三男
- 山下勇 藤原慈子 聖心会札幌修道院
- カトリック北26条教会
- 澤田和夫 水口透 榊原旬 中村美枝
- 石川雄治 山森栄一 トーエイ貿易(株)
- 祐川眞一 阿部秀子 扇谷ウタ子
- 上野祐子 山本悟郎・蓉子 能町基子
- 高橋昭市 阿部和加子
- 阿部小児科医院・理事長・阿部和男
- 未沢史 森脇栄一 鈴木望・きよ美
- 古屋君代 古賀清敬 柚澤愛子
- さゆり幼稚園・保護者の会長・辻絵里
- 森田健児 本田修二・メルス
- カトリック真駒内教会・カフェ・マリア
- 布教姉妹会烏山修道院
- 宮田敏夫・ゆかり 永井幸雄
- 石川和男・直美
- (株)リ・ウィンス・渡辺綾子
- 土田久子 堀田敏弘 近藤修二
- カトリック北広島教会
- カトリック月寒教会・バザー委員会
- 山田順一 川成多紀子 森田美千代
- 佐藤克洋 栗原弥恵 鶴田幸子
- カトリック円山教会・EVを支える会
- 阿部美砂子 芹田静江 山根昇

その他匿名の方々

(敬称略・順不同)

2016年8月5日～11月7日





カニのお代わりはホテルの新記録を作るくらいでした

勝谷司教様の計らいで、登別温泉の第一滝本館に一泊することができました。夕食はビュッフェ方式でしたが、E.Vの若者たちは、フィリピンと変わらず、最初から御飯を大量に食べてしまい、せっかくの北海道の味覚は普通の入程度の量になってしまいました。特に刺身やカニに舌づつみを打っていました。果物やアイスクリームも食べ放題だったので、この日は、満腹、満足の一日になりました。



登別マリンパークにて半日楽しみました



初体験のゴンドラ、大騒ぎでした

一夜明けて次の日は、雨でしたが、登別マリンパークに行きました。



素晴らしい日本の旅、ありがとうございました。
Daghang kaayong salamati



EVの昨日今更

寄付贈呈

以前はダバオ市に住んでいて、最近キダパワンに移住してこられたインド出身のグルバダシン・シナンさんが、EVを訪ねて来られ、日用品などを寄付してくださいました。以前にも別のインド人の方が寄付くださいましたが、その方からEVの話聞き、情報を得て、今回ご寄付くださいました。ありがとうございます。このような大変嬉しく思います。



日用品の寄付は本当に助かります

元気で、ジャンジャン

11月5日、ジャンジャンが無事に母親の元に帰れることになり、笑顔でEVを旅立ちました。1年と2ヶ月、EVに滞在していました。



素敵なプレゼント

ロシエルさんは、マニラ在住ですが、以前、キダパワンで福祉の勉強をしていました。その時に、実習生としてEVに数週間滞在し、奉仕をしてきました。

今年の9月17日、久しぶりにキダパワンに戻った彼女は、子どもたちのために、人気キャラクター・ジョリピーをお供に訪ねてくれました。子どもたちは大よろこびです。ロシエルさんと楽しい一時を過ごしました。



フィリピン人気のキャラクター・ジョリピー



右から二人目がロシエルさん

インダイの卒業式

2002年のイースタービレッジの最初の子どもだったインダイ・ユミは、今年の春からまた、ここに滞在し、半年コースの専門学校に通っていました。飲食関係のサービスの勉強を終え、11月15日、117名の学生と共に卒業式を迎えました。他のコースの学生も合わせると207名の卒業式でした。フィリピンでは卒業生は通常、両親や肉親と入場するので、この日は、4歳の時から知っている祐川神父が父親代わりで入場しました。



卒業式での出で立ち



恩師と一緒に

誕生日ありがとう

キダパワン在住のラブラドルさんの子どもで一歳になるプリンスちゃんの誕生日をイースタービレッジでお祝いしてくれました。ミッキーマウスも登場し、楽しい誕生日になりました。



誕生日おめでとう

イースタービレッジで最年少のジョシユアのお兄さんでラミル・アマスタス君が9月14日に誕生日を迎え、16歳になりました。現在、9年生です。

11月6日に？歳になったセレス・タナイドさんは、ご存知のように、イースタービレッジの副施設長兼、ソーシャルワーカーとしてILPプログラムの責任者をしてくれています。

キダパワン市のテニスクラブにも所属している彼女は、友人も多く、入れ替わり立ち代り誕生日のグリーティングを受けていました。夜は、イースタービレッジのみんなに囲まれて誕生日のお祝いをしました。もちろん、おいしい食事も振る舞ってくれました。



キャンドルサービスで皆の祝福を受けました



追加出版のお知らせ

『イエスという人の物語』は2014年クリスマスに出版されましたが、この度、第二版が出されることになりました。144章、日本語でも千ページを超える作品ですが、地道にファンを増やしてきました。

ラテンアメリカで話題を呼んだラジオドラマに基づくイエス物語で、読者は知らず知らずのうちに、当時の普通の生活や習慣、社会状況を理解することになります。勝谷司教の推薦をいただいています。ご注文はCD(左頁)と同じく月寒教会まで。



Thanks to you!

ありがとう



Easter Village の待望の 1st アルバム好評発売中!

今回、子どもたちの中にある秘めた思いや、心から湧き出すメロディーを多くの恩人に届けようと、作詞、作曲を全員に課しました。最初は恥ずかしながらも「鼻歌」を持ち寄り、それをもとに肉付けをする形で、予想以上に素晴らしい詩とメロディーが生まれてきたことに驚いています。

イースタービレッジ・ディレクター 祐川 郁生

バナナ

パイナップル

マンゴスティン

いろいろな味があるように
僕らもみんな違うのだけど

共に歌えばしあわせさ

(「虹」の一節より)



Easter Village のオリジナル 4 曲
勝谷太治司教のオリジナル 2 曲を含む
計 10 曲を収録。

01. Easter Village Song
02. Amahan namo (主の祈り)
03. キリストの平和
04. 喜びの知らせ
05. Salamat sayo!
06. 日常～サミーのギターにのせて～
07. Salamat Sa Tanan
08. 君の心に
09. 虹 Niji
10. My life



受付・問い合わせ

カトリック月寒教会 CD アルバム係り

〒003-0021

札幌市白石区栄通 2 丁目 11 16

Email: ako.martha@gmail.com 電話 (011)851-2032
Fax (011)851-2044





Merry Christmas & A Happy New Year!

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけの援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代表 勝谷 太治 事務局 西田 淳子 松川 厚明

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号: 0 2 7 6 0 - 3 - 3 9 4 7 3

口座名称: イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-577-4742 Fax: 577-3118 Email: info@eastervillage.com

Website: <http://eastervillage.com>

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)



2016年12月

「イースタービレッジだより第55号」

発行責任者: 祐川郁生

